

# 親子聖書日課

[日]主のように「たくましく育ち、知恵に満ち、神と人から愛される」子になる秘訣は、礼拝や祈禱会、奉仕に親子で参加することです。そこで、神と人に出会い、他者のための祈りが生まれます。神中心に生きることこそ、神と人から愛されます。

[月]ユダヤ人は神に選ばれた民だから、悔い改める必要はないと考えました。しかし「蝮の子」でも毒があるように、アダムの子孫である私達は、主を信じて罪を犯します。日々、悔い改めて、「聖霊の火」で清められていく必要があります。

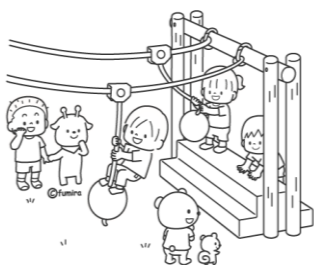
[火]悪魔は空腹の時にも誘惑してきます。生活が大変だから、信仰よりもパン(物質)の方が大切だと。それも御言葉を用いて誘惑します。悪魔に対抗するためには、神の武具(御言葉と祈り)で身を固め、どんな時も「ただ主に仕える」ことです。

[水]御言葉を聴いても、こんな事は起こるだろうかと疑う人はいませんか。主は「今日、あなた方が耳にした時、実現した」と言われます。救いは主によって実現します。「聖書読みのキリスト知らず」にならないように、主の声に聴き従いましょう。

[木]主はどんなに多忙でも、朝早く起きて祈られました。これは主の働きの原動力でした。神の子でさえ、新しい力を頂くために、独り静かに神と交わったのです。無力な私達は、尚更、そうすべきです。「朝の15分があなたを変えらる」とは本当です。

[金]魚のことなら私に任せてというほど、漁師の経験を持つペトロでしたが、自分の判断を捨て、ただ主の言葉に従い、全てを委ねました。信仰とはそういうものです。どんなに都合が悪くても、主の言葉に従うなら、そこに奇跡と祝福が起こります。

[土]病人を癒して欲しいと願って、男達は非常手段を取りました。他者の家の屋根の瓦をはがして、病人を主のみ前につり降ろしました。この一見、乱暴に見える熱心な姿勢を主は喜ばれました。人を救いに導くためには、この熱心さが必要です。



NO.1713 2021.7/25-31

名前

	聖書	問題	答え
日	ルカ 2:39-52	幼子はどのように育ちましたか。	
月	3:1-20	主は何と何であなたがためにバプテスマをお授けになりましたか。	
火	3:21-4:13	人は何だけで生きるものではありませんか。	
水	4:14-30	聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にした時、どうなりましたか。	
木	4:31-44	朝になるとイエスはどこへ出て行かれましたか	
金	5:1-16	しかし、何ですから網を降ろしてみましよう、ペトロは応えましたか。	
土	5:17-26	イエスはその人達の何を見て「あなたの罪は赦された」と言われましたか	
		<b>感想と祈りの課題</b>	